檜山北高通信　第１１２号

八穂の星

〒049－4433　久遠郡せたな町北檜山区丹羽３６０－１
TEL：０１３７（８４）５３３１　FAX：０１３７（８４）５３３３

平成２７年１１月２４日（火）

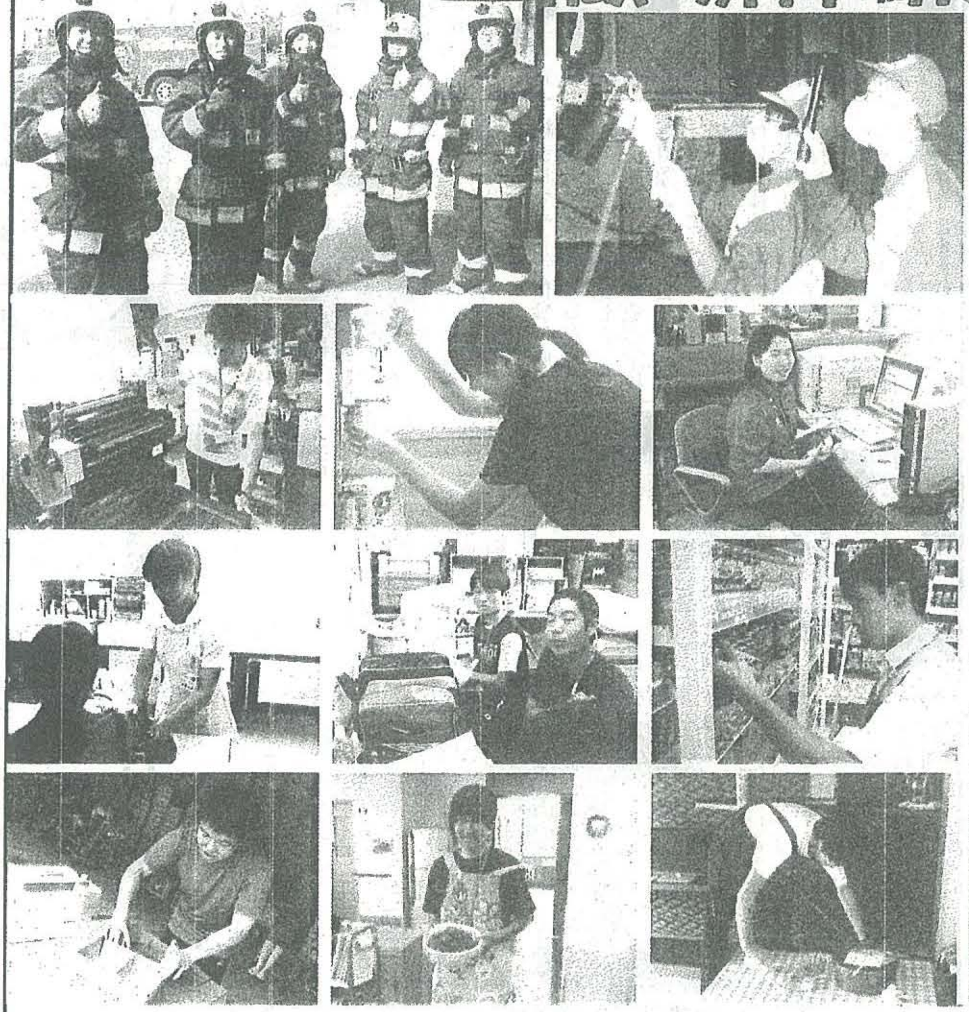
回覧

- ２年生職場体験実習
- 生徒会役員選挙
- 教育実習終了
- 中学生１日体験入学
- 交通安全街頭啓発実施
- 野球部全校応援

北高生の応援団ベツターズ参上ー!

檜山北高のキャリア学習

２年生職場体験実習



7月下旬から8月上旬にかけて、2年次生の職場体験実習が行われました。

6月中旬から、働くことの意義や社会人としてのマナーについて学び、入念に準備しました。

毎年、生徒個々の進路に合わせて受け入れ先を決定しています。今年度も42の事業所にご協力いただき、無事実施することができました。

生徒は、学校祭の準備で忙しい合間を縫って電話での実習依頼を行い、企業との打ち合わせなどを経て、有意義な実習を行うことができました。

夏季休業明けの8月21日(金)に、各クラスごとに行われた実習報告会で代表者が選ばれ、8月28日(金)に年次報告会を行いました。報告会の最後に、職場体験実習全体のまとめとして働くということをテーマに講演会を行い、小川食品の小川宏社長のお話を聞きました。幅広い経験に裏打ちされたお話に、生徒は熱心に聞き入っていました。

生徒会役員選挙・認証式～第45期生徒会執行部決まる～

第４５期 生徒会執行部

会　　長	髙島 里央(2C)	監　査	螺良龍太郎(1A)
副 会 長	大谷和香菜(2A)	文化部長	小山 恭汰(1C)
書　　記	長谷川柚香(1A)	体育部長	本杉 喜貴(2B)
会計部長	手塚 唯人(2C)	保健部長	宮崎 敦紀(1A)
会　　計	佐藤 大介(1B)	生活部長	滝本 和哉(2C)

▲演説をする長谷川さん

9月4日(金)、生徒会役員選挙が行われました。

選挙管理委員長の藤原さやかさんの挨拶の後、推薦者と立候補者がそれぞれ演説を行い、生徒は投票しました。当日の立候補者は10名の定員に対して9名でしたが、10月22日(木)に行われた補欠選挙によって保健部長も決まり、現在は10名で活動しています。

投票結果は即日発表され、立候補者全員が信任を得ることができました。

9月25日(金)、前期終業式に合わせて生徒会認証式が行われ、第45期生徒会長に任命された髙島里央さんが、「全校生徒のみなさんのよりよい学校生活のために、45期一同、精一杯頑張ります」と抱負を述べました。

▲用紙を投票箱に入れる様子

▲演説する小山くん(右)

▲手塚くんの演説の様子

中学生一日体験入学実施

9月14日(月)、北檜山中学校・瀬棚中学校・今金中学校を対象とした一日体験入学を行いました。

ガイダンスでは、本校生徒を代表して3年A組浅井くん、西村花菜さん、B組赤堀くん、諸戸くん、C組山崎くんの5名が、自身の進路希望を叶えるために学校生活をどのように過ごしてきたか話しました。

体験授業は、国語・地理・英語・数学・理科・情報・家庭・農業の8教科の中から2つ受けてもらいました

▲中学生に好評だった、高校生の発表の様子

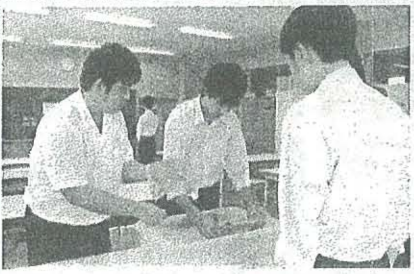
また、休憩時間には部活見学が出来るようになっており、生徒はグラウンドで練習見学や茶道体験、吹奏楽の演奏を鑑賞するなど自由に見学していました。

17日(木)には大成中学校を対象とした一日体験入学を実施しました。ガイダンスと部活見学はほぼ同様に行い、体験授業の代わりに本校生徒が受けている授業を見学してもらいました。

中学生のアンケート結果からは、「ガイダンスで高校生の話が聞けてよかった」「今までと違う北高のイメージを持つことができた」など有意義な体験になったことがうかがえます。

アンケートの内容も参考にして、次年度以降もより檜山北高校の魅力が伝わる体験入学を実施していきます。

▲理科実験は毎年人気が集まる授業の一つ



▲ボランティア同好会での再生紙作り体験

▲れっきとした国語の授業風景です

野球部／全校応援

9月22日(火)、秋季北海道高等学校野球大会函館支部予選の決勝進出に伴い、全校応援を函館オーシャンスタジアムで実施しました。

この大会は春の選抜甲子園につながる大会です。決勝では函大柏稜高校と対戦し、厳しい練習で鍛えた守備で5回まで0対0の展開でした。6回に柏稜高校に2点取られ、その後出塁を重ねるも得点に結びつかず、0対2で惜敗しました。

守備の要の投手、吉野くん(上)
ヒットを打った尾野くん(左)
二塁に送球する杉村くん(下)

残念ながら全道大会進出はなりませんでしたが、野球部生徒は最後の一投一打まで粘り抜き、スタンドも、吹奏楽・応援団・生徒・保護者一丸となって声援を送りました。地域の方々にも応援していただき、学校だけでなく、地域全体が活気づいた出来事となりました。

撫養くん(上)
応援する生徒の様子(右)

教育実習終了

H24年度卒業生 小西良枝さん

8月24日(月)から9月18日(金)までの1ヶ月間、本校卒業生の小西良枝さんが教育実習を行いました。

小西さんは平成24年度の卒業生で、現在は北海道教育大学岩見沢校で美術を専門に学んでいます。将来は先生になることを志し、今回の教育実習に臨みました。

高校での教育実習期間は2週間が通例で、1ヶ月間は長期の実習となります。

▲授業に熱が入る小西さん

小西さんは実習のまとめとして「美術Ⅲ」という3年生の授業で、立体のアニメーション制作の授業を行いました。生徒は出来た作品を鑑賞し、互いに評価しました。

▲美術Ⅲの作品鑑賞会。中央の生徒が発表中

実習最終日の18日には所属する2年C組の生徒から感謝の花束と色紙が送られ、小西さんからもクラス全員の似顔絵が書かれた色紙が送られました。

先生として活躍するＯＢは大勢います。小西さんも頑張ってほしいと思います。

▲2Cで記念撮影(下段中央が小西さん)

安全意識の向上を目指して～交通安全・性教育～

8月24日(月)、北海道教育大学函館校の木村育恵准教授を講師にお招きし、性教育講演会を行いました。「男女の尊厳」というテーマで、「男らしさ・女らしさ」という世の中の思い込みを捉え直し、人間関係を改めて考える機会となりました。

▲セリフにも「男女らしさ」の思い込みがあるという実験をしました。

9月16日(水)、交通安全街頭啓発運動を行いました。丹羽活性化センター前で、生活委員長と各クラスの交通安全委員、「草花」の授業選択者の全34名が、パンフレットと花などをドライバーに手渡し、「スピード違反に気をつけて下さい」などと安全運転を呼びかけました。

▲花を渡す2年生交通安全委員